

(1)(1)

(一)

公信第四六號

明治四十三年三月十日

在ニコラエウスク

鈴木陽之助

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

露國統關海上監視區域擴張ニ関スル

法律公布報告之件

海上ニ於ケル露國統關ノ監視區域ハ従来關稅
法第二條附則第四條ニ海岸ヨリ三海里ノ線ト
規定シアリタル處今般法律ヲ以テ右附則ヲ
改正シ監視區域ヲ最大干潮時ニ於ケル水
際ヨリ十二海里線ト爲シ該區域内ハ内外
國ノ船舶ヲ問ハズ總テ海關ノ監視ヲ受ケ
ルル旨制定セラルタルニ付右法律別紙ノ通
譯書差込候致具

譯文

今九百九年十月十四日發行
法律令第一號第二号

朕國議院及國民議會ノ協議ヲ經タル海上ニ於
ケル税関監視區域ノ擴張ニ関スル法律ヲ裁
可シ茲之ヲ公布セシム

今九百九年十月十四日ヲ以テヤレニ於テ

ニコライ

國議院書記官長「マカロー」副署

海上ニ於ケル税関監視區域ノ擴張ニ

関スル法律

関税法(今九百四年舊)第二條附則第四條ヲ左ノ

通り改ム

露國版圖ノ大陸及島嶼ニ於ケル最大干潮
時ノ海岸線ヨリ海上十二海里ハ區域ヲ海上

外務省

ニ於ケル税関監視區域トス該区域内ニ於
テハ露國及外國ノ諸船舶ハ露國々境警
備ニ任セル露國官憲ノ監視ヲ受クハキ
モノトス

國議院議長「エム、アキ」モ「記名

関税法附則第四條(千九百四年出版)

大陸及島嶼ニ於ケル露國海岸線ヨリ海上三海里ノ區域ヲ海上ニ於ケル税関監視區域トス該區域内ニ於テハ露國及外國ノ諸船舶ハ露國々境警備ニ任スル露國官憲ノ監視ヲ受クヘキモノトス

外國船舶ノ到着及税関監督官ノ臨検、

一三九條 第一三六條規定(該條ハ税関官署ノ無キ場合ヲ規定ス)ヲ除ク外税関官署ノ設置アル諸港ニ限り外國ヨリ來ル諸船舶ノ入港ヲ許可スルモノトス

一四〇條 外國ヨリ露國ノ諸港ニ來ル船舶ハ其始メテ到着セル港ニ於テ到着順ニヨリ税関監視

外務省

監督官ニシテ臨検スルモノトス

附則 外國軍艦ニシテ商業上ノ目的ヲ以テ來港スルモノハ商船ニ準スル諸規定及責任ニ從フ

一四一條 税関監督官ノ船舶臨検ハ税関監視所ニ於テ之ヲ行ヒ若シ監視所アラサル時ハ税関監督官ノ指定スル場所(港)ニ於テス税関監視所ニ於テ税関監督官ノ臨検ナリ船舶各別々ニ着クハ全体トシテ入港スルノ許可ハ大藏大臣ニ之ヲ委任ス

一四二條 船舶臨検ノ際ハ船長ハ該船ニ於テ左ノ書類ヲ添付セル告知書ヲ税関監督官ニ交付スヘキ義務アルモノトス

一、荷積証書（船舶入港迄呈出セサリし時）
 二、船舶食料品及船舶必要品目録
 三、船客名簿
 四、船員名簿
 五、船長及船員所持ノ物品
 六、健康証書
 露國之旗ヲ掲ケ到着セし船舶ノ船長ハ前項
 書類ノ外臨檢ノ際露國之旗ヲ掲揚スルノ
 許可証、運轉手免狀及全乗組員ノ旅券
 一四三條 前條記載ノ書類ノ外船長ハ船舶測度
 証ヲ呈出スルヲ要ス而シテ該測度証ニシテ
 船舶ノ測度ヲ記入セサル場合及船舶ノ出帆
 豫定時日ニ準シ統關指定ノ期限ニ測度証
 書ヲ呈出セサル場合ニハ該船舶ノ測度ハ船
 長ノ責用ヲ以テ統關之ヲ施行ス
 一四四條 大藏大臣所定ノ度ヲ超過セサル小船
 ニシテ貨物ナク又ハ第一三七條ノ特別表ニ
 記載ノ関稅安キ物品及食料品ヲ搭載セ
 ルモノノ船長ハ告知書、貨物証書、及第一四
 二條第二第三及第五項ニ記載ノ書類ノ呈
 出ヲ要ス
 本條ノ規定ハ船舶ノ大小ニ係ハラズ又貨物、
 如何ニ依ラス、アルハン分リスクニ縣ノ諸港ニ来
 ル海岸住民ノ船舶ニ適用ス

外務省